

「ライオンのいる場所」

中村ケンシ

登場人物

- ・須藤（5年1組担任 男）
- ・森（5年1組副担任 女）
- ・三谷（6年1組担任 男）
- ・脇中（4年2組担任 女）
- ・橋野（2年2組担任 女）
- ・奥井（事務員 女）
- ・横山（教頭 女）
- ・香取（保護者 男）
- ・市原（スクールカウンセラー 男）

部屋の中央に会議用の長机が置いてある。パイプ椅子が数脚。壁にホワイトボード。壁際にも机があり、机上には冊子やペン立て、電話、ポット、お盆、湯吞等が置かれている。出入り口のドアは一か所。統一性はないが機能的な部屋である。とある支援学校の小会議室。この部屋は様々な目的に使われる。

1、ビデオライン

ある日の午後。須藤と脇中がいる。教頭の横山が立っている。

横山 これだけ

須藤 え

脇中 教務部で空いてたのは我々だけででしたから

須藤 みんな忙しいですからね

横山 三谷先生、どこ

須藤 休養室に

横山 いい選択ね。あそこは目立たない

須藤 彼、「出て行って、直接、対決したい」って言うてましたよ

横山 絶対だめ

脇中 私もそれはマズいと思います

横山 三谷先生に誰か付いてるの

脇中 （須藤に）森先生ですよ

横山 森先生ね

須藤 今は橋野先生ですね

横山 え、橋野先生？

須藤 「子どもらをスクールバスに乗せたら橋野先生と交代して」って森には伝えてますから

横山 了解です

須藤 こそこそ隠れんでもここで待機させといたらえんとちやいますか

横山 近すぎるでしょ、校長室と

須藤 せやから三谷先生が校長室に乗り込んだら話が早いんとちやいますか

横山 隠れてなきやだめ

須藤 隠しますか

横山 話し合いにならへん

脇中 まだいてはるんですよね、香取さんのお父さん

横山 お昼からずっと

須藤 結局、当事者同士が話さんとラチがあかんのとちやいますかね

横山 無理

須藤 無理ですかね

横山 話、こじれるから

須藤 もうこじれてますよね

脇中 結局、何がきっかけなんですか

須藤 ビデオラインですわ

脇中 ビデオライン？

横山 今日の学習発表会

脇中 はい

横山 6年生の劇の上演の最中に事件

脇中 「ライオンキング」の劇のときですよ、何があったんですか

須藤 香取の父親、学校来たん久しぶりで

脇中 そうですよ

須藤 張り切って、今日の発表会でスマホでビデオ撮っててやね、わが子の晴れ姿。で、撮影に夢中になって、夢中になりすぎてビデオラインを踏み越えたんやね。それを「ラインまで下がれ」言うて三谷先生が注意した。たぶんその言い方がね、逆なでしたんちゃうんかな

横山 「わが子の姿ぐらい自由に撮らせろ」言うて、文句

脇中 会場係でしたよね、三谷先生

須藤 会場係の腕章を強調しながら、注意したらしいんやけど

脇中 三谷先生は全然悪くないですよ

横山 ほっとけばよかったのよ

脇中 どういうことですか

須藤 私も教頭と同意見ですわ

脇中 須藤先生

横山 香取さんとは前からいろいろあったんでしょ。難しい親御さんと聞いてます。三谷先生はもっと慎重に対処せん

脇中 そうですか

須藤 だから香取は主役の「シンバ」やったやないですか

横山 シンバ？

須藤 ライオンの息子の役ですわ。最後、王様になる。ええ役ですわ。だから、もう少し注意すんのを待ってやね、せめて息子の出番が終わってからでもよかったんやないですかね

横山 そう。そういうこと

須藤 あいつ、セリフ覚えて頑張ってましたしね。あんなん初めてですわ。担任の三谷先生のおかげですわ。でも親の気持ちもわからんでもないです。親やったら、ビデオラインなんて関係ないですよ。ビデオラインは見えないですわ。そら軽々と踏み越えますわ

脇中 須藤先生はどの立ち位置にいてはるんですか

横山 まあ親御さんの気持ちも想像せん

脇中 そうですけど

横山 そもそも「ビデオライン」って何？

脇中 毎年問題になるんですよ。スマホ撮影の保護者の非常識な行動

横山 それは聞いてる

脇中 こちらが黙ってたら、舞台の袖の中まで保護者が入り込んでくるんです。あれ、去年でした？ 大道具の出し入れにとっても邪魔でした。一昨年、フラッシュで、舞台の上で動けんようになって失禁した1年生がいてましたよね。支援学校の発表会なんやから、保護者にはその辺はわかって欲しいですよ。子供ら繊細なんやから。普通小学校と違うんやから  
須藤 だから限度はありますよ。去年も一昨年もあれはあかんかったって僕も思いますよ  
脇中 どこまでが限度なんですか。きちんとルールを決めないとなしくずしですよ  
須藤 なしくずしはあきませんけど

脇中 迷惑した保護者も實際いたわけですから。今年度は「ビデオライン」を作るって、発表会委員で議論して時間かけてルールを決めたんです。保護者には厳守していただかないと

須藤 香取のお父さんは、あれですわ、その、「夢中」やったんやわ

脇中 なんですかそれ。印象で語らないでください

須藤 印象ちやいますわ、直感ですわ

脇中 似たようなもんです

横山 ビデオラインはなんで体育館の一番後ろなん？ しかもたった1メートル。舞台から一番遠い。そもそも舞台、見えへんし

脇中 見えますよ

横山 その前はどんどん人通るし。体育館の横らへんにしても良かったんちゃうの

脇中 会議でそういう意見も出ました

横山 スマホ構えた人みんな、あないな檻みたいなとこに閉じこめられて。親御さんら、かわいそうやわ

脇中 ルールを決めんとダメなんです。具体的に。幅は何メートルとか

横山 そら学校に文句の一つも言いたくなるわ。（須藤に）ねえ

脇中 教頭先生はどの立ち位置なんですか

横山 せやから、親御さんのことを想像してあげんと

脇中 ビデオラインについてはすでに再検討事項のトップにあげてますから

横山 それから

脇中 はい

横山 それにね

脇中 はい

横山 父子家庭ですよ、香取さんとこ

脇中 だから特例なんですか

横山 いや全然そうは言うてへんよ

須藤 特例でええと思いますよ

脇中 他の保護者にどう説明するんですか。「家庭の事情で香取さんのご家族の方だけ、ビデオラインを越えることをご了承ください」て書いたプリントを配布しますか、全校に

須藤 保護者一人一人に説明して回ってもええと思いますよ。僕、しますよ

脇中 香取さんだけズルいってことになりますよね。「自分らも」っていっぱい言ってますよ

須藤 要望は全部聞いたらいい

脇中 ルールが必要なんです

須藤 ルールこそ保護者と一緒に決めたらええやないですか

脇中 ビデオラインだけにそんな時間はかけられません。決めなきゃいけないことはビデオラインの他にも、もっともつとありましたから

横山 (頭を抱えて) あービデオライン

脇中 なんですか

横山 ビデオラインのことなんかもうどうでもいい

脇中 教頭としてそれはマズイでしょ

横山 なんで

脇中 香取さんのお父さんはビデオラインのことで苦情を言ってきたのはわるわけですよ

須藤 ビデオラインは氷山の一角ですわ

横山 氷山の一角って何？

須藤 溜まり溜まった学校への不満のきっかけ

横山 こわいこと言わんというて

須藤 とにかく学校はもっと保護者と対話せんとあかんのですよ、時間かけて

脇中 正論ですね

須藤 正論で何が悪いんですかね

脇中 そんな時間が我々のどこにあるんですか

須藤 時間くらい作りますわ。時間は作るもんです

脇中 須藤先生、個別の学校支援計画の提出まだですよ。締め切りは次の職会ですよ。大丈夫ですか

須藤 (頭を指して) ここに文章あるから。あとはパソコンに打ち込むだけ

脇中 出していないの、先生だけらしいですよ

須藤 話題変わってるやないですか

横山 須藤先生、そらあかんわ。来週の水曜日が締め切りやで。金曜日、監査やから。今年の監査はチェック厳しいって、前から言ってたでしょ

須藤 水曜日には必ず

横山 脇中先生は提出物完璧。文章も直すところなし。一点の曇りもなし

脇中 ありがとうございます

須藤 文才があるってうらやましいですね

横山 お給料に響くわよ

須藤 え、そうでしたよ

横山 今の時代、ええ文章書かんと。親御さんに読まれるんやから。親御さんを感動させんと。泣かせる文章書かんと

須藤 了解しました

横山 あ

須藤 なんですか

横山 須藤先生、来年度の校外学習の予定出した？

須藤 え？来年度ですよ

横山 当たり前です

須藤 締め切り、いつでした？

横山 来週の水曜日

須藤 ええっ

脇中 だいぶん前の職会で連絡ありましたよ  
横山 くれぐれもお願いね

横山、行こうとする。

須藤 あ、教頭先生

横山 何

須藤 いや、えっと、さっきの、その、校外学習の話なんですけど

横山 締め切りは水曜日

須藤 あのですね、こんなふうに考えられませんか

横山 何

須藤 うちが支援学校ですよ、普通小学校と違いますよね

横山 そうね

須藤 いろんな子供がいて、それぞれ持つてる障害も違って、だから課題も違うわけですよ  
ね

横山 そのための「個別的教育支援計画」でしょ

須藤 決められないじゃないですか

横山 何

須藤 来年の校外学習です

横山 は

須藤 今の時点で来年、誰がどのクラス持つんか、我々は全くわからへんわけですよ

横山 は

須藤 自分も来年この学校におるという保証はありませんしね。まあみんなですけど。保護者アンケートの結果次第で簡単に転勤になる時代ですから。クレームがあつた教師同士を学校間でシャッフルして、クレームが一箇所にとどまらんようにするシステムでしょ。クレームをつけた親も、クレームがあつた教師も、永久に直接顔を合わさない。当事者はいなくなるから。学校は逃げるのがどんどんうまくなる。でも、問題は残るんです。「しこり」っていうんですか？学校と親との間の「しこり」は消えへん。不信感がどんどん肥大化する。向き合ふんとあかんのですよ。誤解もあつたかもしれへん。教師も人間やねんからいっぱい間違えます。それ、素直に教えてもらいたい。一般論にしたらあかんです。教師も、親も、子供も、それぞれ違う人間です。顔が違って、考え方が違って、今まで生きてきた歴史が違って、みんな違うんです。ぶつかりあうのは当たり前です。そこからでしょ。向き合つて、話し合つて、親と教師とおんなじ目線持つて、子供の成長を喜び合つて、それが「学校」でしょ。教育をシステムにしちゃあかんと思いますわ

横山、拍手をする。

須藤 えーっと

横山 須藤先生

須藤 はい

横山 何の話

須藤 話、それですかね

横山 大きくそれでいきましたね

須藤 そうですか

横山 演説は上手やからどっか別のところでやってもろたら助かるんやけど

須藤 えーっとですね

横山 はい

須藤 僕が言いたいのですわ

横山 はいはい

須藤 子供知らんと、子供等に合った行き先なんて決められないってことです。

横山 はあ

須藤 今までそうやったんです。うちの学校、支援学校やから。教頭先生は今年来はったから知りはらへんと思いますけど

横山 今、それを言う

須藤 始業式で新鮮に子供たちと「出会う」んです、4月5月は「関係作って」、「心のキャッチボール」です、子供たちに「寄り添う」んです。知的障害の軽度のクラスの場合は、遠足の行き先を子供たちと話し合って決めてるんです。当日のスケジュールも子供らと意見出し合って決めるんです

横山 そういうのを行き当たりばったりって言いませんか

須藤 え

横山 計画性のなさが問題なんじゃありませんか。それでもプロですか。一般企業じゃ通用しません

須藤 どこに行くのかが大事なんじゃなくて、誰と行くのかが大事なんですよ。関係性ですよ、人間は

横山 行き先はどこでもいいんですか

須藤 言うたでしょ、子供と一緒に・・

横山 はじめからきちんとルールを敷いて、そのルールの上に児童をうまく乗せていくことが教師の仕事ではないんですか。教師の力量ではないんですか。「寄り添う」って何ですか？そんな抽象的な言葉はわかりません。「心のキャッチボール」ってなんですか？どんなボールなんです？目に見えませんが。そんなことで業績が上がるんですか

須藤 ここは「学校」です。企業の論理は通用しません

横山 社会では教師の常識は通用しません

須藤 あのですわ

横山 はい

須藤 まあいいですわ

横山 はい、終わりにしましょう

ドアが開く。森が入ってくる。

森 ああ、須藤先生

須藤 おう

森 探しましたよ

須藤 おう。何かあった？

森 会議中ですか

須藤 会議は終わった

森 はあ

須藤 何

森 ああ、前屋敷さんのお迎え、今日、ヘルパーさんでした？

須藤 確かそうやけど

森 そうですよ。連絡帳のお迎えの欄、ヘルパーさんのところ「○」してありましたし

須藤 まだ来えへんの  
森 お母さんに連絡したんですけど、携帯つながらないんですよ。一応、メールしてきましたけど

須藤 下校時刻、間違えてる？

須藤、携帯電話を取り出し、電話をかける。かからない。再度、かける。

森 (横山に) 校長室、まだいてはるんですよ

横山 居座ってる

森 長期戦ですね

横山 お昼頃、すごかったんですよ。机、叩いて、怒鳴って、「三谷を出せ」って

森 そんなに、ですか

脇中 うちの校長、大丈夫ですか

横山 がんばるでしょ。前の仕事、クレーム処理やから。腕の見せ所  
森 どういうことですか

須藤 (携帯電話の画面を見て) つながれへん

横山 あれ、森先生、三谷先生に付いてるんじゃないの

森 はい、あ、いえ、まだ、前屋敷さんいるんで

横山 もしかして今、三谷先生、一人？

森 いえ、橋野先生が(須藤に) そうですね

横山 あーなんかものすごく油を売ってしまったような気がする。三谷先生の様子見てこないと  
森 はい

横山 いや校長室が先か

須藤 横山教頭

横山 何ですか

須藤 教頭は性善説ですか？性悪説ですか？

横山 なにそれ

須藤 そのまんまの問いです

横山、須藤に向き直る。

横山 須藤先生のおっしゃられた「寄り添う」って言葉ね。私には残念ながら「楽をする」と言ってるように聞こえます

須藤 はい

横山 それから「向き合う」って言葉ね。私には「甘える」と言ってるように聞こえます

横山、出て行く。

森 (脇中に) 何の会議やったんですか？

脇中 教育論

森 え？

須藤 前屋敷は？

森 図書室です。一人だけお迎えないから、ちょっとパニックになったんですけど、今は落ち着いて、絵本眺めてゆっくりしてます

脇中 お母さんはつかまらへんの？

森 パート中は電話に出ないんです

須藤 前屋敷には悪いけど、ちょっと待たすしかないな

森 トイレが心配なんです

脇中 なんて

森 前屋敷さん、人工肛門なんです。家ではいつも寝る前に浣腸するらしいんですけど。だから、学校で大の方はしたことないんです

ノックの音。

脇中 はい、どうぞ

ドアが開く。事務職員の奥井である。

奥井 (須藤を見つけて) 発見しました

須藤 僕？

奥井 須藤先生と森先生

森 え、私ですか

奥井 はやくしてください

須藤 何を？

奥井 見てないんですか、付箋

須藤 フセン？

奥井 机に貼りましたよ

須藤 どの

奥井 職員室

須藤 いつ？

奥井 三日前

須藤 ごめん。見てない

脇中 机の上、ゴミの山やから

須藤 ゴミって

奥井 ゴミの山の一番ふもとに目立つようにちよつと大き目の蛍光付箋をベタッと

須藤 最近、職員室に寄ってへんからなあ

奥井 先生方のお仕事は職員室に寄らなくてもできるんですか

須藤 職員室苦手やねん

森 私ですよ

奥井 え？森先生も職員室が苦手なんです

森 いえ、苦手ではないです

奥井 森先生は机の一番上の引き出しです。



森 見落としてました

奥井 森先生の付箋は地味やったから仕方ないです

森 すみません

須藤 奥井さん

奥井 はい

須藤 教えて

奥井 いや

須藤 お願い

奥井 いいですか、定期券のコピー

森・須藤 ああ

奥井 お二人とも出してませんよね

須藤 (奥井に) 締め切りいつやった?

脇中 とくに

奥井 (二人に手を出して) 今すぐ出してください。来週、監査です

森 あの、すぐに

奥井 教育委員会がなくなって、監査が議員さんになってから容赦ないですよ

須藤 了解

奥井 困るのは先生方ですからね

須藤 了解しました

奥井 三谷先生、出張ですか? 学校中探しても、どこにもいないんですけど

須藤 学校が全力で隠しとんねん

奥井 ということですか

脇中 ああ、三谷先生はね

須藤 教員休養室

奥井 え

須藤 四階の、南端の

奥井 あの部屋、倉庫ですよ

須藤 今、大変やねんで。校長室

奥井 知りませんけど

脇中 須藤先生

須藤 何をしたか興味ないの

脇中 須藤先生

奥井 先生方の問題ですから

須藤 あ、今、線引いたよね

奥井 今の興味は三谷先生の居所のみ

須藤 偉い。徹底してる

奥井 いろいろ首をつっこんだら抜けなくなりますから

須藤 奥井さんに校長室の偵察をお願いしよ、思ったんやけど、お茶出すついでに

奥井 お茶は出しますけど

脇中 須藤先生、それ微妙に差別発言ですよ

須藤 撤回します

脇中 はやっ

奥井 教員休養室ですね

奥井、去る。

森 図書室、行きますね

須藤 僕が行くわ

森 え

須藤 前屋敷のどこ

森 私、行きますよ

須藤 ちょっと様子見たいし

脇中 女の先生の方がこういうときはいいんじゃないですか

須藤 謝らなあかんしな

森 謝るって誰にですか

須藤 前屋敷に

森 何を謝るんですか

須藤 ちょっと待たさなあかんやろ。お母さん、つかまらんし

森 そうですけど

須藤 こっちの連絡ミスやから

森 ここはいいんですか

須藤 ここ？

森 だって、校長室、今

須藤 出番ないわ。うちの校長、腕の見せ所らしいし

森 香取さんのお父さんですよ

須藤 せやけど

森 香取さん、須藤先生の「元」教え子やないですか

須藤 せやな

森 あの、脇中先生も低学年のとき、香取さんの担任でしたよね

須藤 そんなんで集められたんとちゃうで

脇中 一応、教務部ということで、各学年から一人ずつ

森 二人だけやないですか。須藤先生を探す間、前屋敷さんを少し見ててほしいって職員室に

頼みに行ったら、誰も聴く耳ありませんでしたわ。先生ら、みんなパソコンに向かって熱

心に書類仕事

須藤 来週、監査やからな

森 そんなんでいいんですか

須藤 優先順位が違うんやろ。監査に引っかけたら大変なんはホンマやから。監視されて、

なんにも出来なくなる。日々の教育活動に支障きたすほど

森 須藤先生と脇中先生は書類仕事が手につかないんですよね

脇中 え

森 香取さんの件が気になって

脇中 私はほら、仕事持ち込んでるから

森 須藤先生、さっき言うてたじゃないですか。あんなにがんばってたのに、自分の父親が学

校ともめてることを本人がわかったらかわいそうやって

須藤 わからへんって、知的障害やで

森 わかりますよ

須藤 え

森 香取さんは感じてますよ

須藤、黙する。

森 伝わりますよ

森、脇中と須藤を見て。

森 優先順位が違うんですよ、お二人は

森、行こうとする。

須藤 あんな

森 ・ ・ ・ ・

須藤 なんかつたらここに電話して

森 はい。内線何番でした？

須藤 何番やったかな

脇中 107

森 さすが

脇中 図書室行く前に事務室寄って、定期券のコピー、ぱぱっと出してきたら？コピーぐらいすぐでしょ

森 あ、でも

脇中 監査のとき、提出し忘れてたら、新聞に載るわよ。大げさな話やなくて。通勤経路の不正申告、交通費の不正受給いうて。新聞に載ったら遠まわしに解雇やからね

森 そうですね

脇中 私らは現場におらんと意味ないんやから

森 やってきます。ありがとうございます

森、出て行く。脇中は採点作業に戻る。

脇中 行ってきたいいですよ

須藤 え

脇中 須藤先生もコピー

須藤 ああ

脇中 しばらくは私一人で大丈夫ですから

ペンを走らせる音。

須藤 算数ですか

脇中 足し算です

須藤 算数って難しいですよ

脇中 わかる子はすぐにわかるんですけど

須藤 わからん子はなかなか

脇中 算数って世の中の仕組みをつかみ取る術（すべ）ですから

須藤 仕組み

脇中 この子らに必要なんか

須藤 はい

脇中 この子らに「算数」がどこまで必要なんか

チャイムが鳴る。

須藤 ダンボールのイノシシは良かったですね

脇中 え

須藤 「ライオンキング」の衣装です。肩からダンボールのイノシシさげて

脇中 夏休みに東京まで公演を見に行ったらいいですよ

須藤 東京？

脇中 劇指導の佐野先生

須藤 ああ佐野先生

脇中 劇団四季

須藤 ああなるほど、ほんで、あのキリン

脇中 はい

須藤 元々アニメーションですよ「ライオンキング」って

脇中 ディズニー映画

須藤 「ライオンキング」って手塚治虫のパクリって言われてるんですよ

脇中 そうなんですか

須藤 設定が同じ。ほんで手塚治虫の方が古い。僕はテレビの再放送で見てたんやけど。知ってます？白いライオンの

脇中 漫画は詳しくないんで

須藤 テーマが全然ちゃうんですわ

脇中 テーマですか

須藤 「ライオンキング」は「強いアメリカ」が根底にある

脇中 素直やないですね

須藤 いえいえ

脇中 ライオンは

須藤 え

脇中 白いライオンの漫画のテーマ

須藤 自己犠牲ですね

脇中 自己犠牲

話が途切れる。

須藤 先生が担任してたときって休み多かったんですよ

脇中 なんですか

須藤 香取のこと

脇中 え



須藤 時間は作るから

脇中 退勤時間のチェックも来月から始まります。18時以降は学校に残れなくなるんですよ。知ってます？

須藤 え

脇中 残るにしても残業申請書と事後報告書の提出が必要になるんです  
須藤 報告書？

脇中 残業申請書を残業して書くみたいな変なことになります

須藤 なにそれ

脇中 夜遅くまで教室の明かりが灯ってたら近隣に通報されますからね

須藤 ありましたねそんなこと

脇中 合わせていかないとダメなんですよ

須藤 何に合わせるんですか

脇中 合理的に考えるんです

須藤 合理的

脇中 全部フォーマットを用意するんです

須藤 はい

脇中 フォーマットにその時々情報を入力する

須藤 何の話ですか

脇中 後は大切なことに時間を使えます

須藤 大切なこと

脇中 そうでもしないと

須藤 はい

脇中 時間に・・追いつきませんから

須藤 そうですね

脇中 だから、須藤先生もやり方変えたほうがいいですよ

須藤 やり方ですか

脇中 はい

脇中は採点作業を終えた。

須藤 時間を決めたのは人間ですよね

脇中 なんですかそれ

須藤 いえいえ

脇中は立ち上がる。

須藤 あれ

脇中 職員室、行ってきます

須藤 パソコン仕事ですか

脇中 終わってます

須藤 さすが

脇中 戻りますから

須藤 僕だけでいいですよ、こー

脇中 大丈夫です

須藤 管理職がなんとかするんちゃいますかね

脇中 仕事、持ってきます

須藤 ええのに

脇中 いえ必ず戻りますから

脇中、去る。内線の電話がなる。須藤、電話をとる。図書室の森からの電話である。

須藤 はい、小会議室。え？そうなん、どんな感じ？うん、うん、暖房入ってる？苦しそう？  
顔色は？うん、うん、一応、保健室に連絡入れといて、もっかいお母さんに連絡、あ、入れてくれた？ありがとう。僕もそっち行くわ。え？うん、大丈夫やから。すぐ行くわ

須藤、電話を置く。ドアが開く。香取が入ってくる。横山教頭が続く。

横山 須藤先生にどうしても会いたいということですので

須藤 はあ

横山 香取さん（と、椅子をすすめる）

香取、須藤の対面に座る。全員、着席する。

香取 須藤先生

須藤 はい

香取 ヒトって何ですかね

須藤 え

香取 先生はヒトですよ

須藤 は

香取 私はヒトなんですかね

須藤 は

香取 健介は、あれ、ヒトなんですかね

須藤 お父さん、えっと

香取 あれは9歳までしゃべらなかった

須藤 はい

香取 コトバがなかった

須藤 ・・・・

香取 顔がね、わからんですよ、夜ね、二人でいると、窓際でじっとしてるんですよ、じつと、外を見てるんですよ、何を見てるのか、わからんですよ、窓の外は暗闇です。前に回り込んだんですよ、健介の。いったい、何を見てるんだってね、窓の外を見てるんじゃないかった。窓を見てるんですよ、窓の、ガラスのきらめきをね、美しいんでしょうねえ、薄汚い、埃だらけの、ガラスを。それで、にこにこしてるんですよ、笑顔なんすよ

須藤 はい

香取 先生

須藤 え

香取 「考える」ってアタマですよ、アタマで考えるんですよ

須藤 はい

香取 アタマにコトバを浮かべて、コトバの点とコトバの点を、どういんですか？つなげるっていんですか

須藤 はい、お父さん、それが思考力です

香取 健介にはね、コトバがないんですよ

須藤 ありますよ

香取 目に映るものに意味はないんですよ

須藤 表情も、スキンシップも、それ、全部、健介さんのコトバです。手を取るやないですか。欲しいものを、欲しいときに、こうやって、僕の手をですねえ、こう動かして、それもコトバなんです

香取 先生には感謝しとるんです。必死でやってくれた。健介、4年生の時から、学校に行くのを嫌がらなくなりました

須藤 はい

香取 朝、スクールバスに乗せるのも一苦労でしたから

須藤 はい

香取 泣き叫ぶ健介を、毎朝毎朝、無理やりバスのシートに押さえつけて

須藤 はい

香取 鬼ですね、私

須藤 いえ

香取 つらかったですよ、朝が来るのが怖かったですよ

須藤 ええ

香取 ですから、それがなくなっただけでも、先生には感謝してるんです

須藤 健介君、良かったです

香取 え

須藤 今日の劇です

香取 そうですか

須藤 舞台上上がるのを嫌がらんと。それにセリフも全部覚えて

横山 香取さん、ホント、素晴らしかったですよ

須藤 いろんな先生が言うてました。健介君は成長したって

横山 ホントすごい成長です

香取 オウム返しですね

須藤 え

香取 コトバを話せる子供や横に付いた先生の話したセリフのオウム返し

須藤 えっと

香取 うちの子はオウムですか

須藤 健介君、がんばったと、思っんですけど

香取 がんばりましたよ

須藤 はい

香取 それ、本当は私が一番よくわからないといけないんですけどね

須藤 ……

香取 先生

須藤 はい

香取 私は、健介をかわいいと思ったことがないんです



須藤 ええ

香取 かわいくないんです

須藤 ええ

香取 家内が引き取るものとはかり思っていました。それまで世話をしていたのは家内でした。私は仕事が忙しくて、全然見てなかった。家内はあつさりとあれを置いて出て行きました。家内の気持ちもわかります。私はね、押し付けられました。覚悟はしましたよ。今までの罪ほろぼしの意味もあります。私はね、本気でね、健介と生きなとおそうと思ったんです。でもね、なんですかね、うまくいきませんね。何をやってもね、よくわからなくて

須藤 お父さん

香取 私はね、学校だけが頼りなんです

須藤 はい

香取 須藤先生がね、教えてくれたじゃないですか。「お父さん、メッセージを探しましょう」って。健介の、健介は、私のことを、お父さんのことを必ずわかってるって、だから、それを一緒に探しましょうって。言ってくれましたよね

須藤 はい、言いました

香取 それ、私、信じてるんです。ビデオくらいで騒いだことは申し訳ないと思ってるんです。大人げないことをしたと思います

須藤 いえ、あの

香取 学校にも迷惑をかけました

横山 改めまして、私と校長とで謝罪にうかがわせていただきますので

香取 謝罪ですか

横山 本当に不快な思いをさせてしまいまして、本当に本当に申し訳ありませんでした

香取 そんなことはどうでもいいんです

横山 ですが、あの

香取 校長は忙しいですね

横山 夕方から校長会がありまして、その

香取 三谷先生はどうされました？

横山 三谷は、その、前から決まっていた出張に出ておりました

香取 先生方は忙しいですね

横山 すいません、ですから、改めまして

香取 優先順位ですね

横山 え

香取 なんですかね、うまく言葉にできないんですけど

横山 はい

香取 迷惑をかけて、こんなことを言うのもあれなんです

横山 はい

香取 私は、ヒトに、なりたいたいと思ってます

須藤 ヒトですか

香取 そして、健介をヒトにしたいと

須藤 ええ

香取 先生方も、ヒトであってほしいと・・・願ってます

香取、立ち上がる。

横山 お帰りですか

香取、ドアを開け、出ていく。そのあとを横山が追いかける。脇中が入ってくる。

脇中 香取さんのお父さんですよ

須藤 はい

脇中 どうでした？

須藤 どうってなんですか

脇中 なんて言っていました

須藤 そうですね

脇中 健介さん、ヘルパーさんと一緒ですよ。まだ、お父さんと健介さん、会っていないですよ

須藤 ええ

横山が戻ってくる

横山 「障害受容」っていうんですかね

横山、ドアを閉める。

横山 「障害受容」ができていない親御さんの典型かしらね

須藤 教頭先生

横山 はい

須藤 先生は仕事を間違えましたね

横山 え

須藤 私ですけど

横山 何

須藤 どうやって受け入れるんです。障害を持った子供を、そう簡単には

横山 先生の仕事は何ですか

須藤 え

横山 須藤先生は何ができるんですか

須藤 わかりません

横山 わからない

須藤 ここに、おるだけですね

横山 ここに

須藤 はい

横山 なんですかそれ

電話が鳴る。横山、去る。脇中が電話を取る。

脇中 はい、あ、森先生、え？（須藤に）須藤先生、前屋敷さん、発作って  
須藤 え

脇中 救急車は呼んだみたい。今は、横になってるって  
須藤 「すぐ行きます」と伝えてください  
脇中 須藤先生、すぐに行きますから。はい

脇中、電話を置く。須藤は動かない。

脇中 須藤先生

## 2、風水

別の日の午前中。三谷と橋野がいる。

橋野 この前、パネル片づけたじゃないですか  
三谷 パネル？

橋野 発表会で子どもの絵画を展示してたパネルです

三谷 ああ、展示展示

橋野 たった5枚でしょ

三谷 はい

橋野 たった5枚のパネルを片付けるだけなのに、なんで小学部のほとんどの先生が集まるんですか？

三谷 ええやん別に。集まらんよりマシでしょ

橋野 集まってもほとんどの先生はすることがないんですよ。パネル1枚の角を4人で持つて、残りの先生はその周り囲んで

三谷 美しい助け合いの精神やん

橋野 え

三谷 みんなでパネルを運ぶんですよ。職場の一体感

橋野 三谷先生は本気でそう思ってるんですか

三谷 何？

橋野 ですからね、みんな陰口を言われたくないからですよ

三谷 陰口？どういうこと？

橋野 パネル運びに「誰かいらない」ってなるでしょ

三谷 はい

橋野 その先生は「パネル運びに来なかったサボリ」ってなるんですよ

三谷 え

橋野 そういうとき、いつもいてない先生いますよね

三谷 誰？

橋野 稲森先生

三谷 あ

橋野 特に力仕事するとき

三谷 確かに

橋野 音楽の先生や図工の先生たちって、朝のホームルームの時間、授業ないから暇じゃないですか

三谷 そんなことないよ、ほら、教材準備とか

橋野 朝の職会終わって、担任の先生たちが教室に上がったあと、専科の先生たちのティータイムが始まるんです。そのときに陰口です

三谷 ホンマ？

橋野 ホンマです。私、この前、忘れ物して職員室に戻ったんです。そのときに聴きました

三谷 それは怖い話や

橋野 でもね、もっと怖いんです

三谷 何何

橋野 その人ら、稲森先生がパネル運びに来られても困るんです

三谷 なんで

橋野 稲森先生をサポートの先生に仕立て上げたんだめなんです。そうすることによって「ああ自分たちはちゃんと仕事してる」って安心するんです

三谷 そうなん

橋野 そうですよ。それから管理職が点数付けるやないですか。教師の順位付けの

三谷 ああ、評価育成システム

橋野 同じ学校で、最低レベルの「E」になる人って何人か決まってるじゃないですか

三谷 相對評価やからね

橋野 みんなががんばっても必ず誰かが「E」になるじゃないですか。「E」を3年続けてもらったら教育センター送りです。給料は下がる。つらい研修の日々。だから、みんなが一斉にがんばっても仕方がないんですよ

三谷 どういうこと？

橋野 そこで対策です

三谷 対策、はい

橋野 はじめから「E」をもらう人をみんなで決めておくんです

三谷 はいはい

橋野 どうします？お互いの授業はなかなか見られないですよ。じゃあ何を見たらわかりやすいですか？誰でもわかるもの。例えば、「パネル運び」ですよ。「パネル運び」に参加しない先生が「E」です。自分たちの保身のため

三谷 橋野先生

橋野 はい

三谷 いつもそんなことを考えてんの

橋野 大事なことですから

三谷 しんどない

橋野 三谷先生は今年の「E」の有力候補ですよ

三谷 なんで

橋野 ビデオライン事件

三谷 ああ、まあなあ

橋野 大丈夫ですか

三谷 あれはね、俺にも言い分があるから

橋野 お父さん、また来るって言うてるらしいですね

三谷 俺は話しかかったんや、お父さんと

橋野 この学校、風水が悪いんです

三谷 風水

橋野 校舎、変な形してるでしょ

三谷 変な形？

橋野 三角の会議室があったり、屋上にプールがあったり、階段、急すきるところあるし

三谷 その代わりにエレベーター設置されてるし。支援学校やから当たり前か

橋野 三谷先生は悪くないんですよ

三谷 え

橋野 あの事件は風水のせいです

三谷 それも？

橋野 事件現場の体育館が最悪。入り口の「方角」がヤバいんです。「凶」の方位

三谷 凶？

橋野 「凶」の中でも最大級の「凶」、「絶命」です

三谷 命が絶える

橋野 「絶命」は不幸やトラブルが多くなる最大凶の方位です。ここにいと暗い気持ちにな  
って、猜疑心も強くなるでしょう。人を信じられないで、孤立するでしょう。怪我や病気が  
長引くでしょう

三谷 ちょっと待って。ラッキーカラーは何色？ラッキーアイテムは何？それ置こう。体育館  
の入口の下駄箱のところにそれ置こう

橋野 巻貝ですわ

三谷 巻貝？

橋野 渦巻状の物です。悪い気を巻き取る作用があります

三谷 ラッキーカラーは？

橋野 ピンク

三谷 え、塗ったらええんかな、ピンクに貝を

橋野 不自然なんです

三谷 何が？

橋野 この学校、狭い敷地に無理やり建ててあるじゃないですか。運動場、狭いし

三谷 校舎の配置も風水的に悪いと

橋野 はい

三谷 すぐに建てかえなあかと

橋野 はい

三谷 でも建て替える教育予算はないと

橋野 はい

三谷 ほんで

橋野 え

三谷 何の話やったかな

橋野 私が転勤を迷っている理由です

三谷 そうやったわ

橋野 はい

三谷 転勤したい一番の理由は、それは風水が悪いからやと

橋野 病気になるのはいややし

三谷 誰でもそうやね

橋野 最近、病気休暇とる先生が増えてきてるってよく聞くじゃないですか。ほとんどの人の  
理由は風水が理由だと思えます

三谷 いや違うでしょう

橋野 私、教頭に嫌われてるんですかね

三谷 え、どうやら

橋野 森先生なんかお気に入りです。えこひいき

三谷 気のせいちゃうの

橋野 森先生の魅力をひとつ言うてください

三谷 なんやら

橋野 どうぞ

三谷 「元氣」やな

橋野 「元氣」

三谷 どう？

橋野 それはそうですね

三谷 この仕事、「元氣」ってのは大事やと思うわ

橋野 私はダメ

三谷 橋野先生も「元氣」やん

橋野 私は子どもが帰ってから「元氣」になるから

三谷 そうやわ

橋野 子どもが好きじゃないと、この仕事、無理なんです

三谷 まあある程度はね

橋野 どの程度ですか

三谷 いやどうやら、それは、人それぞれかな

橋野 三谷先生も早めに転勤した方がいいですよ

三谷 え

橋野 ビデオライン事件がいい機会です

三谷 いやいや

橋野 ずっといたら、みんなおかしくなります

三谷 風水のせい

橋野 南の方の支援学校は楽みたいですよ。ここと比べて、まだ田舎やから。大学の同期の子が勤めてるんですけど、保護者も大人しいって聞きますよ

三谷 場所のせいとちゃうと思うけど

橋野、お茶を飲む。

三谷 俺は反省してる

橋野 なんです

三谷 香取のお父さんに申し訳ないことした

橋野 だから三谷先生は悪くないですよ

三谷 まあ会場係やったから注意したけど、他の保護者の手前もあるし。でも、杓子定規やっとなあ

橋野 杓子定規？

三谷 ヒト、定規で測ったらあかんって

橋野 定規で測ったんです

三谷 お父さん、怒りながら、なんかな、さみしそうやったわ、それがひっかかって

橋野 でも、ずっと校長室に居残ってたみたいですよ

三谷 なんて謝らせてくれへんのかな、管理職は。信用ないかな？俺

橋野 なにか問題が起こったとき親と先生が顔を合わせないのは普通ですよ

三谷 せやな

橋野 話がややこしくなりますしね

チャイムの音が鳴っている。

三谷 だから、場所やないと思うねん

橋野 はあ

三谷 なんかな、この仕事はヒト相手やろ。だから、ヒトとヒトの、この間に、なんかあらなあかんと思っわ

橋野 三谷先生

三谷 何

橋野 須藤先生と同じようなこと言いますよね

三谷 どういうこと？

橋野 学校の先生が言うみたいなこと

三谷 学校の先生やん

ドアが開く。森である。

森 あ、三谷先生、おはようございます

三谷 元氣やね

森 え

三谷 その「元氣」の秘訣は何

森 なんですかそれ（ドアを閉める）

三谷 今、その話をね

橋野 体を大事にするって話をしてたの

森 体ですか？

橋野 そう

森 （橋野に）あ、おはようございます

橋野 おはよう（と、お茶を入れにいく）

三谷 大変やったね、一昨日、前屋敷さん

森 はい、びっくりしました

三谷 あれからお母さんと連絡ついたん？

森 はい、病院に直接駆けつけて来られて

三谷 あれやね、前屋敷さんのお母さん、けっこう放任なん

森 仕事忙しいみたいで。平日、働いてはるから

三谷 完全に学校にお任せタイプ？

森 そうですね

三谷 最近、どつちかやね。細かく学校に注文しはる親と完全にお任せタイプ。ひどいものになると子どもが学校でどんなことしてるんか全く知らなかったり、興味自体なかったり

森 どっちの親も、子どもを愛してるんは同じやと思っうんですけど

三谷 そうやね

森 はい

三谷 そう信じたいわ

森 はい

三谷 森先生は、子ども好き？

森 なんです

三谷 子どもが好きやったから教師になったん？

森 ええ、まあそうですね

三谷 そうやろね

森 三谷先生は違うんですか

三谷 俺は微妙やね

森 微妙ってなんですか

三谷 うんまあ。氣イ付いたら知らん間に支援学校におるわ

橋野 私は好きよ、子ども大好き

三谷 人間ドック、行こかな

森 え

三谷 森先生、いくつ？

森 歳ですか

三谷 聞いたらあかんな、今の時代

森 そうですね

三谷 アドバイス。30過ぎたら、毎年、人間ドックいかなあかんよ

森 職員検診は毎年受けてますけど

三谷 あんなんは氣休め

森 氣休めですか？

三谷 毎年細かく調べてもらわんと。知らん間に、知らんとこ、蝕まれてる。氣付かないのが一番怖いから。氣付かないうちに、どんどんどんどん

森 三谷先生

三谷 何

森 私、どう言っているのかわからないですけど

三谷 何

森 ずつといてはったんですよ。教材倉庫に

三谷 命令やから

森 命令ですか

三谷 何

森 何してたんですか

三谷 俺は出たかったよ、すぐに

森 命令にしたがわんとダメなんですか

三谷 当たり前やろ、学校は組織やで

森 わからないです

三谷 何

森 三谷先生は香取さんの担任ですよ

三谷 決まりやろ

森 そうですけど



三谷 何やらね、この気だるさ、まだ午前中やろ。淀んでる？ 空気、止まってる？ 空気が止まってるから淀むんやろね。なんかしんどいね、場所のせい？ 風水？ 地場が悪いんか、ここ森 え

三谷 橋野先生、転勤するのもいい選択やと思うわ。体、壊したらもともともあれへん。橋野先生に家族いるやん？ 恋人もいるでしょ。ああこれもきいたらあかん。仕事で体つぶしたらその人ら悲しむで。場所、変えたらええと思うわ。でもな、場所のせいとちゃうで。どこ行っても、この空気を

橋野 ・・・・

三谷 教育実習、どこ行った？

森 え

三谷 教育実習

森 地元の小学校ですけど

三谷 俺ね、たまたま聾学校やった。耳の聴こえない子どもの学校。「実習」行っただのって、先生らに比べたらもうだいぶん前になるんかなあ。あれから遠くに来てしもたわ。そのとき、俺を受け持ってくれた教官、定年間近ののんびりした先生。実習の最後の日、急に聞かれた。

「教師のプロとアマチュアのの違いって何かわかりますか？」って

森 プロとアマチュアのの違いですか？

三谷 わかる、答え？

橋野 給料もらってる、とかですか

三谷 その先生、続けてこう言うてた。「大きな道路が目の前にあります。教師は道路のこちら側にいます。道路挟んで向こう側にその教師の教え子がいます。子どもは教師を見つけて道路を飛び出しました。トラックが猛スピードでせまってきます。危ない。ひかれる。そのとき、その教師はどうしますか？」

森 大声で叫びますね

三谷 聞こえへん。耳が聞こえへんから

橋野 何か物を投げるとかですか

三谷 届かんかったらどうすんの？

橋野 ・・・・

三谷 プロの答えはこうやって

橋野 なんです

三谷 「どんなことをしても助ける」

森 いろんなことをしても

三谷 方法は経験を積みばいろいろ見つかる。でもその方法で助かるかもしれへんし、助からへんかもしれへん。方法やないんやって。「どんなことをしても助ける」覚悟が必要やって。それがプロやって。アマチュアは選んだ方法が通用せえへんかったらそれで終わるけど、方法が通用しなくても、あきらめんと、助けるまで関わりを続けるのがプロやって

森 はい

橋野 「学校」と「道路」を重ねるのは無理ですよ。「学校」で、トラックにぶつかるような、そんな命の危険はないですね

三谷 俺もね、そのたとえ話、無理あるなあと思ってたんやけど。最近はややうねん

森 なんです

三谷 「学校」は子どもが命をさらしてるところやとホンマに思う

橋野 おおげさですね

三谷 おおげさやない

橋野 ……

三谷 だから、教師は、トラック来てもホンマは飛びこまなあかん

橋野 そんなことできないですよ

三谷 俺もでけへん

森 でも、お母さんたちは、逃げられませんよね

やや間。

三谷 なんかう事？

森 この「使用願い」を書きにきました

三谷 使用願い？

森 明日、スクールカウンセラーの人が来はるんで

三谷 そうなん

森 その人「演劇」を「教育」に取り入れる研究をしてるみたいで

三谷 演劇？

森 連絡行つてません？

三谷 知らんけど

森、壁際の机上にある「小会議室使用願い」の書類に書き込む。ノックの音。

三谷 はい、どうぞ

ドアが開く。横山である。横山、ドアを閉める。

横山 三谷先生に話があるんやけど

三谷 はい

横山 (森と橋野に) ごめんね、悪いね

森 わかりました

森、出て行く。橋野、出て行く。

横山 どうぞ

三谷、横山、椅子に座る。

横山 校庭の隅のクローバーの芝生がきれいですね。前の校長が作りはったんですよ、手入れが行き届いてる

三谷 前任の校長、緑化に命かけてはったから

横山 だからやね、街中(まちなか)の学校やのに、緑がいっぱい

三谷 その芝生の上で子どもがよく寝転ぶんです、気持ちいいから。四葉のクローバー探して遊んだり

横山 それは気持ちよさそうやねえ

三谷 はい

横山 校内菜園のビワの木とイチジクの木、あれも昔、先生方が植えはったんでしょ

三谷 収穫祭は昔から年間行事に組みこまれてますから

横山 来月頭に、砂場の新しい砂が入荷します。トラックの搬入は日曜日です。また、砂場の整地のほうお願いできるかしら

三谷 わかりました

横山 さて

三谷 はい

横山 「転勤願い」を書いてください

三谷 親と絶対もめたらあかん、と

横山 そうです

三谷 わかってましたけど

横山 保護者が訴えた事例は、どんなことも「上」に報告しなければなりませんから

三谷 「上」ですか

横山 ええ

三谷 私にも言い分があるんですけど

横山 我々は公務員です

三谷 はい

横山 どんな言い分も通りません

三谷 そうですね

横山、「転勤願い」の書類を三谷に差し出す。三谷、書類に目を通す。

横山 私もキツイ処分やと思うんやけど

三谷、書く。

横山 「上」は杓子定規やから

三谷 (手をとめて) 杓子定規

横山 ええ

### 3、ティータイム

次の日の午後。奥井がコーヒーを飲んでいる。

チャイムの音。ドアが開く。脇中が立っている。脇中はマグカップを持っている。

脇中 あ

奥井 あ

脇中 会議から逃げてきた

奥井 ああ

脇中 いいかな

奥井 はい

脇中、壁際のポットへ。

奥井 会議、毎日ですね

脇中 目が回る

奥井 なんの会議だったんですか

脇中 避難訓練のプラン会議

奥井 火事ですか

脇中 地震と津波

奥井 ああ

ポケットからスティックコーヒーの小袋を取り出す。

奥井 スティックコーヒー

脇中 スティックコーヒー？

奥井 それです

脇中 ああ

奥井 実は私も（自分のスティックコーヒーの袋を見せる）

脇中 便利よね、これ、時間ないとき

奥井 ええ、便利です

脇中、マグカップにスティックコーヒーとお湯を入れて、座る。  
二人はコーヒーを飲みながら。

奥井 最近、流行りですね

脇中 これ（スティックコーヒーの袋を示して）

奥井 いえ、地震と津波の避難訓練

脇中 ああ

奥井 はい

脇中 仕方がないけど

奥井 仕方ないんですか

脇中 少し前は不審者対策の避難訓練ばかりやってんだけどね

奥井 不審者ですか

脇中 火事も、地震も、津波も、不審者も、ホンマは全部、避難訓練せなあかんねんけど。何が起こるかわからへんから

奥井 そうですよね

脇中 そうよ

奥井 大事な会議じゃないんですか

脇中 ちよっとね

奥井 ちよっと？

脇中 感情的になったら議論にならないことはね、わかってんねんけど

奥井 あもう、何に腹がたったんですか

脇中 聞いてくれる？

奥井 はい

脇中 けっこうたまってるねんけど

奥井 大丈夫です

脇中 いくよ

奥井 どうぞ

脇中 避難訓練の流れ

奥井 はい

脇中 地震があつて、教室で机の下に隠れて、しばらくたつたら、運動場に逃げて、次に津波警報の放送があつて、今度は屋上に避難するんやけど

奥井 はい

脇中 雨天中止やって

奥井 雨降ったら、しないんですか

脇中 中止中止

奥井 ええ？

脇中 どう思う？

奥井 どうなんですかね、それ

脇中 晴れの日にしか災害は起こらんらしい

奥井 なんでなんですか

脇中 運動場の整備が大変という理由で

奥井 運動場の整備

脇中 雨の日に運動場を踏み荒らしたら地面がぐちゃぐちゃになるから

奥井 ああ、なりますけどね

脇中 本末転倒

奥井 避難訓練になりませんね

脇中 そうでしょ

奥井 それでどうなったんですか

脇中 多数決

奥井 は

脇中 結局、多数決で雨天中止決定

奥井 先生方は多数決が好きですね

脇中 すぐに反論した。でも「もう多数決で決定した」からって、とりあってもらえず

奥井 ああ

脇中 「頭、冷やさな」、思って、会議室出ようとしたら、八重山先生がこっそり手に握らせてくれたんがこれ

奥井 スティックコーヒーだったと

脇中 そう

奥井 優しい。八重山先生

脇中 「休憩しておいで」って囁かれて

奥井 あめちゃんみたいですね

脇中 あめちゃん？

奥井 大阪の昔のおばちゃんはあめ配るじゃないですか

脇中 おばちゃんって

奥井 私もらいました

脇中 八重山先生に

奥井 はい。八重山先生に通送便持っていったとき

脇中 ありがたいけど、あの先生、堂々と「雨天中止」の方に手をあげてたわ。ピンと、まっすぐ腕伸ばして

奥井 それ、どっちの意見なんですかね

脇中 どっちの意見もないねん。どっちでもいいんやと思う。特にベテランにそんな人多い  
奥井 優しいのに残念ですね

脇中 ホンマホンマ

奥井 須藤先生はいてたんですか

脇中 須藤先生

奥井 須藤先生だったら雨天決行にひっくり返しそうですけど  
脇中 いたけど

奥井 はい

脇中 「保留」に手えあげて、なんか、黙り込んでたわ

奥井 そうなんですか。なんでですかね

脇中 知らんけど

奥井 はあ

脇中 愚痴、終わり

奥井 え

脇中 監査、無事やった？

奥井 はい、無事に

脇中 やっぱり前より厳しなったん？

奥井 教育委員会がなくなっただけですわ

脇中 だから校長の責任が大きくなって

奥井 でも校長の仕事の許容量越えてるから

脇中 そうそう

奥井 監査が民間委託になって

脇中 「教育」の素人でしょ

奥井 その会社、すごく張り切ってるんですよ

脇中 ということ

奥井 「自分たちが教育の見張り番だ」って、監査に来た会社の若い人

脇中 そうなん

奥井 はい

脇中 へえー

奥井 関係ない人はなんでも言えるんですよ

脇中 そうね

奥井 言うてて、自分が気持ちいいから

脇中 珍しい

奥井 なんですか

脇中 いつも言わないでしょ、奥井さん、そんなこと

奥井 そうですか

脇中 うん

奥井 (コンビニの袋からお菓子「たけのこの里」を出して) どうぞ

脇中 ありがとう

脇中、ひとつ口に入れる。

脇中 おいしい

奥井 良かった

脇中 なんやろ、糖分を欲してるんやわ、私

奥井 どんどんいっちゃってください

お菓子を食べながら。

脇中 もしかして「里派」？

奥井 里派です

脇中 おお

奥井 ヘビーユーザーです

脇中 「きのこの山」って食べにくいよね

奥井 きのこの形が不自然です

脇中 チョコレートとそれ以外のところ分離しすぎてない？

奥井 チョコかじったらポロツと取れますよね

脇中 チョコレートの味はいい勝負なんやけど、それ以外のところ

奥井 クラッカーですか

脇中 それそれ

奥井 あっちがクラッカーでこっちがクッキーです

脇中 クッキーね

奥井 はい

脇中 クラッカーってさ、パサパサしてない？

奥井 ああ

脇中 でさ、塩辛くない？

奥井 ああ、めちゃくちゃわかります

脇中 「きのこの山」って売れてるん

奥井 売れてないですよ、あんなもの

脇中 値段、おんなじ

奥井 おんなじです

脇中 クッキーが効いてるよね、食感

奥井 チョコとクッキーの見事なコラボです

脇中 クッキーの見事なアシスト

奥井 絶対、こっちのほうがお得感ありますよね

脇中 あるある

奥井 食べながらいいですか

脇中 うん

奥井 うちの事務長、やばいですよ

脇中 え？

奥井 いつもぼんやりしてて

脇中 うん

奥井 先生らが事務室にいてはるときは、きびきびと仕事してる感、出してるけど。授業中とか、先生らがいないときは、基本的にスマホ見てて、ずっとゲーム。なんか積み上げたり、並べたり、運んだり、ブロック消したりしてますわ

脇中 そうなん？

奥井 おかげでこっちはリアル仕事がどんどん積み上がっていくばかり

脇中 それ、ちょっと管理職に言うレベルやわ

奥井 関係ない話なんですけど

脇中 うん

奥井 一番初めに勤務した学校で

脇中 うん

奥井 新聞に載ったんです。小さい記事でしたけど

脇中 うん

奥井 先生がひとり、自殺したんですね

脇中 え

奥井 がんばってたんですけど、その先生

脇中 うん

奥井 クラスに授業中、うろろろする子供がいて、その先生、でも、頑張って指導してたんです

脇中 うん

奥井 でも、その子の親から苦情の手紙をもらって

脇中 うん

奥井 「モンスター」ってマスコミに言われたんですけど、そのお母さんも全然違って

脇中 うん

奥井 お母さんも頑張ってたんです。いろいろ、大変な家庭で

脇中 うん

奥井 だから、いっぱいいっぱいになってたんです

脇中 . . . .

奥井 知らない人は、その先生に対して「心が弱かった」とか、いろいろ言うけどそれも全然違って

脇中 . . . .

奥井 仲良かったんです。その先生

脇中 . . . .

奥井 「たけのこの里」

脇中 え

奥井 先生方は大変ですね

奥井、「たけのこの里」をひとつ口に入れる。

奥井 先生方も転勤が増えましたけど、事務は2年ごとに必ず移動です。これいい制度です。踏み込まなくていいから。仲良くなる前に転勤ですから

奥井、お菓子を食べている。



奥井 一人じゃ無理すよ

ドアが開く。須藤が入ってくる。須藤もマグカップを持っている。

須藤 あれ

脇中 なんですか

須藤 サボリですか

脇中 出てましたよ、途中で抜けましたけど

須藤 脇中先生でもサボることがあるんですね。安心ですわ

脇中 だから、出てました

須藤 奥井さん、定期券のコピー出したから

奥井 ありがとうございます

須藤 ギリギリセーフ。ひとつ仕事片付いたわ

奥井 学校の中で須藤先生が一番遅かったですけど

須藤 なんとでも噂して。僕はそんなにこだわらないから

脇中 会議終わりました？

須藤 え

脇中 会議です

須藤 終わりました

脇中 そうですか

須藤 大丈夫ですか？

脇中 なんです

須藤 (奥井に) かつこよかってんで。流れるような明快な論理展開

脇中 やめてください

須藤 いやいやホンマですよ。一人、四面楚歌、ザ・背水の陣

脇中 仕方ないでしょう。多数決なんやから

須藤 我々は民主主義を履き違えましたね

奥井 まあまあ

須藤 マイノリティにこそ、真理があるんとちゃいますかね

奥井 食べますか

須藤 何

奥井 ここ置きますね

須藤 おう、嬉しいなあ

奥井、テーブルにティッシュをしき、その上に「たけのこの里」を置く。

須藤 里やん！里！お湯、まだ残ってる？

須藤、先にカップにお湯を注ぐ。ポケットからスティックコーヒーを取り出す。

奥井 (大声で) あ  
須藤 何

奥井 それ、八重山先生ですよ

須藤 なんて

奥井 （自分のスティックコーヒーの袋を見せ）これです  
須藤 あ

脇中 も自分のスティックコーヒーの袋を見せる。

須藤 あら

須藤 は自分のスティックコーヒーの袋を見る。

須藤 八重山先生は何を企んでるんですか

脇中 は深くため息をつく。須藤、椅子に座る。

須藤 えつとですね

脇中 はい

須藤 雨天決行になりました

脇中 そうなんですか

須藤 ひっくり返しました

脇中 当たり前ですけど

須藤 ええ

脇中 災害に天気は関係ないですから

須藤 ありがとうございます

脇中 急になんです

須藤 いや、えつと、まあ

脇中 はい

須藤 あれですよ、多数決になって、もうどうでもいいと思ったんですけど

脇中 寝てましたよね

須藤 え、寝てませんよ

脇中 ホンマですか

須藤 いやボーっとはしてたんですけど、脇中先生の演説で、目が覚めて、火がついて

脇中 火

須藤 このまま黙ってしまったら黙ることに慣れてしまふんじゃないかと思ひまして

脇中 須藤先生は慣れませんか

須藤 脇中先生の演説が、僕の胸の中の火に油を注いでくれたんは事実ですから

脇中 火に油？

須藤 はい

脇中 私が油？

ドアが開き、森が飛び込んでくる。

森 須藤先生

須藤 何

森 前屋敷さん、またです

須藤 発作

森 いえ、あの

須藤 前屋敷は？どこ？

森 いえ、発作じゃないです

須藤 ああちゃうの

森 発作は大丈夫です

須藤 そうなん

森 はい、えっと、あの、あの

須藤 そうか

森 はい、あの

須藤 わかった。わかったから

森 無事にスクールバスに乗ったんですけど

須藤 うん

森 さっき、職員室に電話かかってきて

須藤 電話

森 デイサービスの施設から

須藤 パンダ村？

森 パンダ村さんです

須藤 なんて

森 お母さんが迎えに来ないって

須藤 また

森 またです

須藤 この前、病院に運ばれたばかりやん

森 はい

須藤 なんで学校に？

森 連絡してもお母さんがつかまらないそうです

須藤 また

森 またです

須藤 お母さん、学習せんとあかんわ

森 電話してみたんですけど、携帯の電源入ってないですね

須藤 今日もパートか

森 今日もパートです

脇中 「いつでも連絡つくように」ってお母さんに伝えました？

須藤 病院でも3回言ったな

森 お母さん、大きく頷いてました

脇中 保護者ってなかなか変わりませんね。こちらの思うようには

森 お母さん、いっぱいいいですよから、いつでも

脇中 それはわかるんやけどね

森 わかるんです。でも、その、お父さんは全く前屋敷さんに関わってくれないというか、全部、お母さん任せなんです。だから、お母さん頑張っているんですけど、お母さん、一人なんです。だから、もっと前屋敷さんと関わって欲しいとか、パートをやめられた方がいい

とかいろいろ思うこともあるんですけど、言わないです。言えないです

脇中 うん

森 私、お母さんは責めないって決めたから、私は、もう、学校でどんなことしようとか、どんな授業しようとか考えるだけなんですけど、前屋敷さん、お母さんが好きで好きで、ホンマに大好きで、発作とか、前屋敷さんの、お母さんへのメッセージかもしれないと思うんです。だから、その……

須藤 行こか。前屋敷、心細いやろし

森 え

須藤 裏門の前で待ってて。10分後。車、回してくるわ

森 はい

須藤 (テーブルの上を見て) えーっと

脇中 片付けときますから

須藤 甘えます

須藤、出て行く、

森 お騒がせしてすみません。あの

脇中 行っておいで

森 はいっ

森、出ていく

脇中 さて

奥井 はい

脇中 私が油ってなによ

奥井 変なたとえでしたね

脇中 奥井さん

奥井 はい

脇中 今度は私が差し入れするから

奥井 え

脇中 またお茶しよ

奥井 ……

#### 4、演劇

次の日の午後。横山がいる。須藤、脇中、森がいる。  
スクールカウンセラーの市原と対峙している。

脇中 「演劇」に何ができるんですか

市原 性急ですね

脇中 え

市原 すぐに結果を求めますね

脇中 そういうつもりはないんですけど

市原 まだわかりません。先生方と「今から」取り組みを始めるわけですから

横山 市原さんは普段はどんなお仕事をされてるんですか

市原 精神科医です

横山 お医者さんですか

市原 ええ、でも最近なんでもやります。企業の新人研修、公民館の市民講座、大学の授業も週に数時間

横山 人気があるんですね

市原 学校に呼ばれることは前から多かったですけど、また増えました

横山 「演劇」を「教育」に取り入れることは流行ですから

市原 そうみたいです

横山 (教師たちに) 市原さんには先日の学習発表会を、お忙しいのに全部見ていただきました

市原 様子を見ておきたかったんで

横山 いかがでした？

市原 そうですね

横山 学習発表会は我が校の1年間の教育活動の集大成です。「障害を持ったお子さんでもここまでできるんだ」ということで、保護者の方々にも好評でした

市原 「演劇」ではありませんでした

横山 え？どういふことでしょうか

市原 「わらしべ長者」ですか？民話劇ですね。2年生ですか？画用紙で作った衣装はかわいかったですけど。マイクスタンドの前までいちいち移動してセリフを言っていましたね

脇中 声がなかなか大きくなりませんから

市原 「演劇」ではありません。「朗読」です

脇中 朗読？

市原 暗記したセリフを大きな身振りで大声で言ってるだけです

脇中 そうなんですけど

市原 「朗読発表会」ですね。「演劇」ではない。6年生の「ライオンキング」は壮観な演出でした。ラストシーンが決まっていた。新しい王様の誕生です。跳び箱で作った丘の上にリリしく立つ小さな王

脇中 はい

市原 ひとつ気になったんですけど、なぜ、子供たちはみんな、ずっと客席の方を見てるんですか？低学年のようにスタンドマイクの前に立つことはなかったですけど、あれですか？集音マイクに向かっているんですかね

脇中 理由はあります

市原 聞かせてください

脇中 観客にメッセージを届けるためです

市原 メッセージ？

脇中 学校演劇ですから。来てくれた家族に向かって

市原 何を伝えるんですか？

脇中 「何を」ですか？

市原 メッセージの内容です。「ライオンキング」の物語ですか。あの話は貴種流離譚(きしゅりゆうりたん)です。高貴の血筋に生まれたものが不幸の境遇に置かれ、その恵まれ

ない境遇の中で旅や冒険をし、「正義」を発揮する有名な物語のパターンのひとつのことをそう言います。神話なんかに多いんですけど、「平家物語」も「水戸黄門」も「ハリー・ポッターシリーズ」もこれですね。わかりやすく、強い物語です。その物語の内容を伝えることを目的とされたんですか

横山 市原さん、その、うちは支援学校ですから

市原 なんでしょうか

横山 なんでもいいんです。子供たちが、舞台の上に立つことさえできれば

脇中 教頭先生

市原 そうなんですか

横山 舞台の上でじっとするだけでも大変なお子さんもありますから

脇中 いや、えっとですね

市原 ラストシーン、6年生の全児童が出てました。数名の子供に先生がついてました

脇中 介護が必要な子供がいますから

市原 紙袋を持っている先生がいてましたね

脇中 紙袋ですか

市原 あの紙袋はなんだろうと、私、興味深く見てました。ラストシーンで使いましたね。動物たちが王にひれ伏すシーンです。シマウマ役の女の子。重度の子でした。その女の子の横で、年配の先生でしたね。紙袋の中からクマのヌイグルミを取り出して。その女の子の好きなヌイグルミなんでしょうねえ。その女の子、クマのヌイグルミに飛びつきました。ヌイグルミに飛びついた女の子は、見事に、王にひれ伏すシマウマのように見えましたね

脇中 補助のやり方はいろいろ考えてるんです

市原 私は同じような光景を見たことがあります。テレビですけど。反省をするサルですか。あれは人間が膝を出すを手をつくように仕込まれてるんですね。別の学校の運動会を見学させてもらったことがあります。徒競走です。ゴールテープの後ろで、今度はミニカーです。先生がスタート地点に立つ子供に向かって、一生懸命、ミニカーを振っていました。スタートの号砲。その子供はゆっくりですけど完走しました。観客席からわれんばかりの拍手です。その子、ゴールテープをくぐって、その先生からミニカーをもぎ取りました。私は、失礼ですけど、その子供が「馬」に、ミニカーが「ニンジン」に見えてしまいました。馬の目の前にニンジンをぶら下げると、そら走りますよね

森 支援学校は大変ですから

横山 いろいろ先生方も工夫してはいるんですけど

市原 ヒトじゃだめなんですか

森 ヒト？

市原 ミニカーではなく、せめて、ヒトに向かうことは難しいんですけどね

須藤 それが「障害」なんですけどね

市原 そうですね。和太鼓は良かったですよ、5年生ですか

須藤 ありがとうございます

市原 子供たち、楽しそうでした。音楽にはなっていなかったですけど

横山 保護者の要望は「劇」です。太鼓は、保護者に、その、評判が悪いんですね

森 そうなんですか

横山 だって適当にたたいてるだけですよ

森 違いますよ

須藤 市原さんは作品を作りはるんですか

市原 作りませんね。「演劇」が目的ではありません。私にとってはツールです

須藤 ツール？道具ですか

市原 補助線です。数学の図形問題に補助線を引くと、混沌の中から今まで見えなかったものが見えてくるじゃないですか

須藤 わかりますよ

市原 「演劇」の補助線を「教育」に利用してやろうと、そういうわけです

須藤 そもそも

市原 はい

須藤 「演劇」ってなんですかね

脇中 「コミュニケーション」ですね

市原 コミュニケーション？

脇中 「コミュニケーション教育」の観点は、学校現場では数年前から取り入れられています  
市原 具体的にはどういった授業があるんですか

脇中 前任校は普通小学校でしたので、「生活」の時間に「遊び」を取り入れての「コミュニケーション教育」を実践していました

市原 「遊び」ですか？

脇中 コミュニケーションゲームです

市原 どんなゲームですか

横山 それは市原さんの方がよくご存知では

森 定番なんですけど

市原 はい

森 この前、研修で講義を受けました。はじめは本物のボールでキャッチボールをするんです。

そのときの体の使い方やボールの感覚を覚えて、今度はボールなしでやってみるんです。ボールがあるつもりで、ボールを想像しながら

市原 なるほど

脇中 コミュニケーションは目に見えないですよ。だから想像するんです

市原 「ライオンキング」の舞台には、ボールが飛び交っていたんですか

脇中 え

市原 残念ながら見えませんでした。私に想像力がないのでしょうか

脇中 あれはですね

市原 ヒトは同じ場面を見ても、違う風景を見てますから

脇中 え

市原 例えばボールです。想像のボールは同じボールに見えるのでしょうか

脇中 ということですか

市原 ヒトは主観でしか物事を理解することができません

脇中 ……

市原 コミュニケーションとは、違う風景を見るしかない私たちが、つながる「と」のできる「何か」を探す行為のことではないでしょうか

須藤 「何か」ですか

市原 はい

須藤 簡単に言いますね

市原 簡単には言ってません

須藤 探してます。毎日、毎日、それが仕事ですから

市原 なかなか見つかりませんか

須藤 そうですね

市原 作ればいいんです

須藤 作る？

市原 新しく作るんです

須藤 . . . .

市原 「演劇」は「コミュニケーション」「想像力」。間違いではありません。しかし、それだけではありません。「演劇」で「新しい風景」を作り出すことができるのではないのでしょうか  
脇中 新しい風景ですか

市原 なにもない舞台です。子供がいます。何故かうずくまっています。下手からもう一人、子供がやってきます。うずくまる子供に気付きます。「どうしたんだろう」と考えます。うずくまってるんですから。後から来た子供はおそろおそろその子供に近付いていきます。関わります。「大丈夫？」と声をかける。それでもう、ひとつの「風景」です。その子供二人の作り出したひとつの「世界」です。声をかけられた子供は顔をあげます。声をかけた子供を見つめます。唇が、ゆっくり、動きます。さて、何を言うのか。「風景」が、動き出します  
須藤 それが「演劇」ですか

市原 「演劇」です。自分たちで新しい「風景」を作るんです。新しい「世界」を作ることができるんだという自己肯定の経験です。それ、これから社会に出る子供たちにとって、大切な武器になるんじゃないでしょうか

市原、手帳を見て、立ち上がる。

市原 須藤先生

須藤 はい

市原 私は今、「須藤先生」と声をかけました

須藤 . . . .

市原 そして須藤先生は「はい」と答えてくれました

須藤 . . . .

市原 須藤先生

須藤 はい

市原 これ、「世界」じゃないですか

チャイムが鳴る。

脇中 具体的にはどういう授業をなさるんですか

市原 わかりません

脇中 どういうことですか

市原 関わって、一緒に、作るわけですから

横山 あもう、それでは困るんですけど

市原 为什么呢

横山 1年間の授業の計画を提出してもらわなければならないんですけど。何をして、それで、どういった成果が期待されるのか、「上」に報告義務がありますから

市原 「上」ですか



横山 学校は「組織」ですから

市原 「上」って誰ですか

横山 まずは校長がその計画書に目を通して、学校協議会にかけます。保護者の代表と地域住民の代表で構成された学校協議会で承認されれば、市の教育行政機関に提出です。最終的に市長にオッケーをもらわないと

市原 市長が「上」ですか

横山 いや、そんなこともないんですが、その

市原 「上」ってどこにあるんですかね

横山 「上」は・「上」ですよ

市原 (やや考えて)わかりました。書きます

横山 ぜひ、そうしていただけると

市原 授業計画書ですね。提出します

横山 安心しました

森 あの

市原 はい

森 私にわかるんですか

市原 え

森 「新しい風景」です

市原 はい

森 子供たちが、作った、その

市原 どうでしょうか

脇中 ちょっといいですかね

市原 はい

脇中 目に見えないとダメなんですよ。目に見える成果がないと。授業をやって、どんな成果があったのか。目に見える成果の積み重ねが「教育」ですから

市原 誰が見るんですか？管理職ですか？保護者ですか？

脇中 それもあります。管理職には具体的に成果を報告する義務があります。保護者には評価を伝える義務があります

市原 違います

脇中 え

市原 あなたです

脇中 ・・・・

市原 あなたには見えますか？

脇中 ・・・・

市原 あなたには子供たちの作った風景が見えますか

脇中 それは・・わからないですけど

市原 私は、今の、全ての先生方に、見る力はないと思います

脇中 どういうことですか

市原 何に追われているんですか？どこに向かっているんですか？今、どこにいますか？そこから何が見えますか？何を見えますか？何を感じていますか？何を思っていますか？何がしたいのですか？どうしたいのですか？何を大切にしていますか？どうしてここにいますか？主観でかまいません。この質問全てに明確に答えてください

脇中 ・・・・

市原 答えがわからない。では流しますか？逃げますか？子供の世界がわからないとき、考えることをやめますか？自分の価値観をおしつけますか？子供のせいになりますか？子供を責めますか？子供を従わせますか？従わなかったらどうするんですか？大声をはりあげますか？従わせるために、殴りますか？子供を

脇中 そんなことするはずないじゃないですか

市原 ……今の先生方に、「新しい世界」を作ることはできません

脇中 ……

市原 私は、子供たちの前に、先生方にこそ、「演劇」が必要だと思っています

やや間。

横山 次回の・・・打ち合わせの日程を決めていただけませんか

市原 早いほうがいいですね

横山 来月とか

市原 先生方と密に話し合いたいと思っていますので

横山 年度末でバタバタしてますけど

市原 卒業式が終わった次の週はどうですかね

横山 （手元の手帳を確認して）えー会議は入ってませんね。先生方、大丈夫ですか  
森 はい

横山 では、次回の打ち合わせはえー１８日ということで

森 わかりました

横山 では、皆さま、お疲れ様でした。

森、去る。

横山 市原さん

市原 はい

横山 甘いですね

市原 甘い？

横山 これから、子どもたちが出て行くのはきびしい社会です。競争原理、スピード社会、合理的社会、差別も当然あります。大事なものがないがしろにされます。「新しい世界」なんてユートピアみたいなことは言ってられないのではないですか

市原 はい

横山 学校の役割は社会に適應する人間を育てることです

市原 その通りですね

電話が鳴る。横山、電話をとる。

横山 はい、小会議室。わかりました。今、戻ります。はい、はい

横山、電話を切る。

横山 （市原に）帰りに校長室に寄ってください。校長が挨拶したいそうですので

市原 わかりました。  
横山 では

横山、去る。

脇中 あの  
市原 はい

脇中 私は  
市原 はい

脇中 私たちは、遠くに来てしまったんでしょうか  
市原 遠くですか

脇中 昔は、もっと、子供の横に  
市原 はい

脇中 （自分の手を見て）感じなくなってるんですかね  
市原 え

脇中 時々、感触がなくなるんです  
市原 はい

脇中 私は、昔、何を思っ、何を大事にしてきたのか  
市原 耳をすませてください

脇中 え  
市原 私ね、勉強しました。この学校のことを

脇中 ・・・・  
市原 倉庫に入らせてもらいました。古い資料がたくさんありました

須藤 そうですか  
市原 校舎を建て替える前の

須藤 10年くらい前ですね  
市原 いえ、もっと前の建て替えです。木造校舎の

須藤 え  
市原 戦時中ですか、一度、空襲で焼かれてるみたいですね

須藤 空襲？  
市原 昔、この学校、工場（こうば）が隣接していて、空襲に巻き込まれたそうです

須藤 そうですか  
市原 詳しく載っていました。空襲警報が鳴って、先生たちは生徒をつれて裏山に避難したそうです。しかし、一人、重度の肢体不自由の生徒が逃げ遅れたそうです。担任の先生はすぐに教室に戻ったそうです。その先生と生徒は助かりませんでした。焼け跡から二人の遺体が見つかったそうです。先生が生徒をかばうように重なっていたそうです

須藤 ・・・・  
市原 ここは、そういう場所なんです

須藤 ・・・・  
市原 私は、この先生のとった行動が正しかったのかどうかわかりません

須藤 ・・・・  
市原 結果的に子供を救えなかったわけですから  
須藤 はい

市原 でも、ひとつだけわかりました  
須藤 なんですか

市原 教師という仕事は、そういう仕事なんですよ

須藤は市原を見つめる。

脇中 どうしてなんですか

市原 なんですか

脇中 授業までしてくださいさるスクールカウンセラーの人は初めてですから

市原 「仕事」ですかね

脇中 仕事

市原 優先順位ですか

脇中 優先順位

市原 私は、私の仕事をやるだけです

脇中 はい

市原 目の前にある、仕事を

脇中 あ

市原 ・・・・

5、きらめき

別の日。会議招集の校内放送がなっている。

須藤 お願いします

須藤、頭をさげる。横山、立ち上がり、電話をかける。

横山 横山です。あ、三谷先生、小会議室に来てください。ええ、ええ、はい（受話器を置く。）

須藤 ありがとうございます

横山 私は、「学校」は、きびしい社会に出る前の訓練機関だと思っています。ですから、しつけ、規律、マナー、とても大切なことです。学校が「ぬるま湯」であってはダメだと心の底から思っています

須藤 はい

横山 同様に、子供を教える立場の先生方もそうです。規律は大切です。「組織」ですから、それぞれ的主張も私には「わがまま」に思えます

須藤 はい

横山 ですから、例外は作りたくないんですけど

須藤 はい

横山 私は、企業の人事部に10年いました

須藤 ええ

横山 障害を持った人を何人も採用しました。採用人数の数パーセントは障害者を雇用しなければならぬことは決まりですから

須藤 . . . .

横山 本当に、続きませんから、仕事。3年のうちにほとんどの障害者が退職していきま

須藤 . . . .

横山 それが現実です

須藤 はい

横山 本人のせいもあるでしょう。職場環境のせいもあるでしょう。でも、学校で、一体何を教わってきたんでしょう

須藤 . . . .

横山 子供たちがこの社会で生きていくって、ホントに難しいですから

須藤 . . . .

横山 呼んできますね

横山、出て行く。ややあって、ノックの音。三谷が入ってくる。

三谷 須藤先生

須藤 香取さん、来てるから

三谷 はい

須藤 もう来るわ

三谷 はい

須藤 . . . .

三谷 ありがとうございます

須藤、立ち上がり、窓の外を見る。

須藤 今日は？

三谷 職員室で

須藤 . . . .

三谷 来年度の引き継ぎの資料を作ってしまったんといけませんから

須藤 ああ

三谷 はい

須藤 檻、見える？

三谷 檻ですか

須藤 僕にはずっと見えてる。僕はずっと檻の中におる

三谷 え

須藤 どうしたらええんかな

三谷 はい

須藤 転勤はひっくり返されへんかったわ

香取が入ってくる。

三谷 香取さん

香取 三谷先生

三谷 本当に、あの、不快な思いをさせてしまって、あの、すみませんでした

香取 ええ

三谷 あの

香取 なんですか

三谷 健介君と、作ります

香取 作る？

三谷 関わって、いつも健介君と一緒に、健介君を見て、感じて

香取 ありがとうございます

香取、三谷に深々と頭を下げる。

香取 （頭を下げたままで）そんなふうに言っていただけで、本当に、涙が出るくらい嬉しい気持ちです。不肖の息子です。世間から相手にされない子です

三谷 そんなことはありません

香取 私も失礼しました。大騒ぎして

三谷 お父さん、顔を上げてください

香取 三谷先生、健介を助けてください。私を助けてください。先生を、信用させてください

三谷 はい

須藤 お父さん、座ってください

香取 え

須藤 どうぞ

香取、椅子に座る。

須藤 三谷先生

三谷 はい

須藤 また、あとで連絡するわ

三谷 はい

三谷、去る。

須藤 来年度はいないんです。三谷先生

香取 さつき、校長室で聞きました

須藤 そうですか

香取 私のせいですね

須藤 違いますよ

やや間。

香取 先生

須藤 はい

香取 これ何か、わかりますか

香取、ポケットから取り出す。シャボン玉セットである。

須藤 懐かしいですね

香取 私は知らなかったんですけど、健介、これが好きだったんですね

須藤 そうなんですか

香取 昨日、たまたま見つけたんです。昔、家内と、遊んだんでしょうね。健介の前で吹いてみたんです

須藤 ええ

香取 健介、声をあげて、はしゃいで。シャボン玉の表面のキラキラがね、たまらないみたいなんです。シャボン玉を遠くまで追いかけたり、手でパチンとやったり、口で吹いてみたり

須藤 ええ

香取 シャボン玉が消えてなくなると私にせがむんです。腕を、ひっぱるんです

須藤 ええ

香取 私を、求めるんですかね

須藤 はい

香取 シャボン玉のキラメキを見ている健介は太陽のような笑顔で

須藤 はい

香取 先生、健介は、この世に生れてきた価値はありますか

須藤 あります

香取 本当ですか

須藤 本当です

香取 本当ですか

須藤 本当です

香取 2時間です。ずっと、二人で、シャボン玉を吹いてました。素敵な夜でした。楽しかった

須藤 はい

香取 でもね、先生、健介、あんまりはしゃぎすぎたので、シャボン玉のあと、たくさんもらいました。大も、小も。夜中に大掃除です。掃除しても、臭くてですね、何枚も何枚も雑巾を使いました。それでも臭いは残って。先生、それも、私が楽しめたらいいんですけど、なかなか難しいですね

須藤 はい

香取 先生、シャボン玉はきれいですね。忘れてました

須藤 そうですね

香取 健介の、見ていたものが、少しだけ、わかったような気がしてます

須藤 お父さん、僕はね、健介君の見たキラメキの美しさが見えません。その美しさがわかりません。その美しさがわからないのは僕のせいですが、僕も、僕はここにいます。お父さん、僕は考えます。命がけで、考えます。出会ったんですから、お父さんと。出会ったんですから健介と

どこからかシャボン玉が舞い込む。須藤、シャボン玉に気付く。見つめる。

終わり